



感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和7(2025)年 第16週 (4/14 ~ 4/20)

三宅島 感染性胃腸炎: 1件

御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患 < 東京都感染症週報 第15週 >

・今週から定点把握対象疾患に急性呼吸器感染症 (ARI) が追加されました。



[急性呼吸器感染症\(ARI\)に関するQ&Aはこちらから\(厚生労働省\)](#)

島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) < 第16週 (4/14~4/20) >

- ・感染性胃腸炎の医療機関あたりの報告数は、0.64で前週(0.18)より増加しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、0.64で前週(0.91)より減少しています。

NEWS 百日咳(Bordetella pertussis)の報告数が急増(東京都)

- まだまだ百日咳の流行が続いています。
 - ・百日咳は子供に多く、長引く咳が特徴です。(10代以下が80%)
 - ・乳児は重症化しやすいため、生後2か月を迎えたら5種混合ワクチン(DPT-IPV-Hib)を接種しましょう。
 - ・乳児がいるご家庭では、マスクなどの咳エチケットや手洗いなど基本的な感染防止対策を心がけてください。(参考:東京都保健医療局)

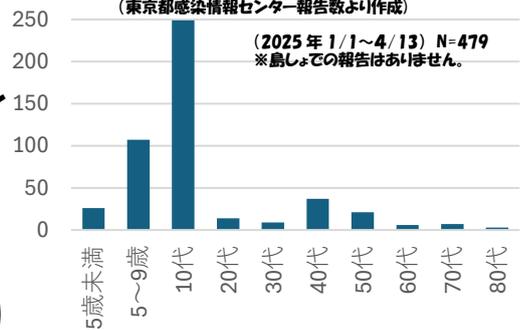
乳児がいるご家庭は注意! 感染力も強力

- 百日咳は、乳児では重症化し肺炎、脳症を合併、死に至ることもあります。経過は3期に分けられ、1.カタル期(約2週間持続):かぜ症状で始まり、咳の回数や程度も激しくなります。2.痙咳期(けいがい:約2~3週間持続):特徴ある発作性けいれん性の咳(痙咳)となります。発作は夜間が多く、年齢が小さいほど症状は多様で、乳児期早期では単に息を止めているような無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止と進展することがあります。3.回復期:激しい発作の咳は次第に減衰し、2~3週間で認められなくなります。成人の百日咳では咳が長期にわたって持続しますが、典型的な発作性の咳を示すことはなく、全経過約2~3カ月で回復します。



(参考:百日咳(厚生労働省))

百日咳年齢階級別報告数(東京都)
(東京都感染症情報センター報告数より作成)



百日咳の報告数の推移(東京都)



百日咳の流行状況(東京都 2025年)
(東京都感染症情報センター)

(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009



<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>

島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和7(2025)年

第 16 週

令和7年 4/14 ~ 4/20

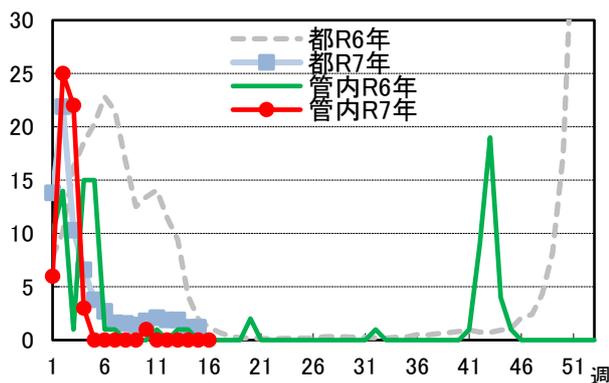
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和7(2025)年						令和7 (2025)年 累計	東京都 定点あたり 15 週
	11 週	12 週	13 週	14 週	15 週	16 週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.30
咽頭結膜熱							0 (0)	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	2.42
感染性胃腸炎						1 (0)	1 (0)	6.28
水 痘							0 (0)	0.46
手足口病							0 (0)	0.05
伝染性紅斑							0 (0)	0.41
突発性発しん							0 (0)	0.22
ヘルパンギーナ							0 (0)	0.01
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.05
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.01
不明発しん症							0 (0)	0.07
インフルエンザ							57 (3)	1.18
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)		1 (0)	1 (0)		1 (1)		19 (5)	1.29

※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

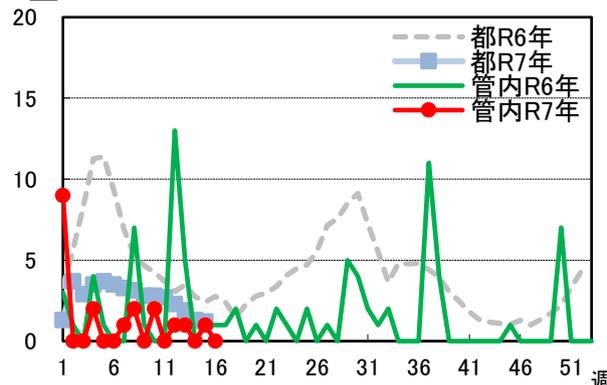
【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

三宅管内の感染症状況は、落ち着いていますが陽性者がいないわけではありません。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。